

第5次宝塚市総合計画 後期基本計画（原案）への意見募集の結果について

提出された意見と市の考え方

No.	項	提出された意見(概要)	意見に対する市の考え方
1	74 79	<p>宝塚市の産業振興に関する重要な事項について調査・審査するため設置された、宝塚市産業活力創造会議（以下、「創造会議」という。※）では、総合計画 後期基本計画原案の内容について、言及がなかった。一方、後期基本計画案には、「観光、商業・サービス業・工業、農業」の項目について、「現状と課題、施策展開の方針と主な取り組み」等が記載されている。しかし、その内容は、創造会議の審議と比較すると、同一の部分は限られており、不十分な内容となっていると思われる。</p> <p>よって、後期基本計画原案が優先される場合は、創造会議の審議や提言書は意味のないものになってしまうと考える。一方、創造会議の提言書が優先される場合は、後期基本計画原案の内容を大幅に追加修正するか又は後期基本計画原案には「観光、商業・サービス業・工業、農業は、創造会議の提言書を参照」とのみ記載し、詳細は創造会議の提言書に委ねるとする取り扱いが必要と考える。</p>	<p>総合計画は、市の最上位の計画であるため、各種の分野別計画や方針などは、総合計画に則することとなっています。</p> <p>後期基本計画原案の作成にあたっては、産業分野の関係部署も携わっており、創造会議での審議内容も把握しておりました。創造会議での意見の内容を勘案して、後期基本計画原案に反映したものもありますが、全て反映したわけではありません。また、意見と同じ趣旨の方針や取り組みが、既に後期基本計画案に記載されている場合もあります。</p> <p>なお、後期基本計画は施策の方針や主な取組を定めるものであるため創造会議の審議内容と全て重なるわけではないことをご承知ください。</p> <p>今回、提言書として受理しましたので、市の現状と課題を鑑みて、あらためてその内容を精査し、後期基本計画の策定に活用してまいります。</p>
2	47	<p>これまでの施策に対する満足度の調査で「道路・交通」に対する満足度が低いとでているにもかかわらず、特段力を入れているように見受けられない。山本駅周辺の区画整理等早い段階で取りかかるべきと思われるが何か予定はないのか？また南部地域の都市計画道路の整備を至急進めていただきたい。</p>	<p>「道路・交通」に対する満足度が低く、また、道路整備の重要性は高いと受け止めています。そこで、山本駅周辺を含む市内各所での道路に関する課題を解消するために、南部市街地において都市計画道路や主要な幹線市道からなる道路網の総合的な検証を行い、渋滞対策や歩行者自転車の安全確保に関する基本方針を策定します。</p> <p>その上で、都市計画道路や幹線市道の整備については、緊急性や効果性などを勘案して整備プログラムを策定し、効率的な道路整備に取り組みます。</p>
3	29 31	<p>後期基本計画原案の重点目標には、「子どもたちの成長を地域全体で支えるまちづくり」、「超高齢社会に対応したまちづくり」があるが、これらの目標の実現に向けては、子ども、親、高齢者が集い、交流することが重要だと考える。子どもが遊び、また、高齢者がゲートボールなどをできる広場と、両者が交流できる施設の整備に適した土地があり、そのような整備を図ることを提案する。</p>	<p>子どもと親、高齢者が交流することは、地域でふれあいや支え合いが生まれ、つながりができることとなります。このようなネットワークづくりを推進し、安心して暮らすことができる地域づくりを目指して、引き続き、取り組んでまいります。</p>

※産業活力創造会議は、知識経験者や産業実践者、市民公募の委員12人で構成され、平成25年(2013年)11月～平成26年(2014年)12月の間に、計7回の会議を重ね、観光、商業・サービス業・工業、農業振興の基本戦略、具体的な施策や事業についてとりまとめ、本年3月18日に、「宝塚市産業振興基本戦略に係る提言書」として、提出されました。